



例年、この時期にインフルエンザが猛威をふるっています。現在、皆さんの体調は大丈夫でしょうか。

インフルエンザは、かぜに似た症状ですが、かぜよりも症状が重かったり、肺炎を併発したりします。そのため、症状が出たときにインフルエンザウイルスを早期発見することが大切です。しかし、「医療機関でインフルエンザの検査をしたが陰性だった。その後、体調が優れないので、別の医療機関にかかり、再度検査したら陽性だった。」という話を聞きます。では、どうしてこうなるのでしょうか。

それは、ウイルスを検出する試薬を使用したときに、ウイルスがいても数が少なく検出できないためです。発病後の経過時間や検体採取部位によっても異

蒲郡市民病院 臨床検査科技師長 ◆ 内藤泰廣

インフルエンザの検査とSARS



なりませんが、症状が出てすぐよりも24〜48時間後、採取部位はのどより鼻の方がウイルスの検出率が高く、正しい診断と投薬が可能となります。ただ、年々医療は進歩し、ウイルスを検出する迅速キットや特効薬が開発され、早期診断・早期治療が可能となりました。インフルエンザかなと思ったときは、医療機関で検査してください。

ここで1つ注意。インフルエンザに似た症状で、昨年猛威をふるったSARS(サーズ)が、今年も日本でも流行するかもしれません。SARS流行地に滞在後10日以内、またはその地区の方と接触のあった方で発熱や呼吸器症状が出た場合は、早急にマスクを着用し、人との接触を避け、保健所・医療機関に電話でご相談ください。



介護保険サービスを受けるには、介護を必要とする人の状態に合わせた「ケアプラン(介護サービス計画)」の作成が必要となります。そして、このケアプランの作成などを行うのが、介護保険の専門職「ケアマネジャー(介護支援専門員)」です。

ケアプランの作成は、まず、介護を必要とする本人やその家族からの相談からスタートします。ケアマネジャーが、面接などを通じ、どのような支援が必要かを考え、本人や家族の希望を考慮してケアプランを作成していきます。ここで大切な事は、ケアマネジャーに介護サービスの希望や生活上の困りごとなどの話を充

問合先 長寿課 ☎66・1176

ケアマネジャーとケアプラン

分に、実状をしっかりとらった上で介護の必要な人にとつてのベストケアプランをたててもらおう事です。ケアプランができると、ケアマネジャーがヘルパーやデイサービスといったサービス事業所と連絡・調整を行い、介護保険サービスの提供が開始されます。

サービス利用後、ケアマネジャーは毎月、サービス利用者宅へ訪問し、本人の状態や希望にあわせてケアプランの見直しをしていきます。このとき、もし、受けているサービスが希望に合わなかった場合は、ケアマネジャーと相談し、プランの内容を変更する事もできます。

蒲郡市内には、13か所の居宅介護支援事業所にケアマネジャーがいます。在宅で介護や支援が必要な状態となり、介護保険サービスを希望される方は、遠慮なくケアマネジャーにご相談ください。